

大町市議会議員定数等検討委員会（第6回）会議概要

- 1 開催日時 平成24年8月24日（金）
午後2時30分から午後4時35分
- 2 開催場所 市議会第3委員会室
- 3 出席委員 八木 聡（委員長） 眞嶋 強志（副委員長）
松島 吉子 太田 昭司
高橋 正 荒澤 靖
中牧 盛登 一本木基善（公募委員）
大日方三郎（公募委員）

※委員会に先立ち、公募委員2名に議長より委嘱書を交付した。
今回より公募委員2名を加えて委員会での検討を行なっていく。

4 会議事項

- (1) 前回の会議概要確認
- (2) 議員活動調査について
- (3) その他

5 会議内容（決定事項等）

(1) 前回の会議概要の確認

- ・前回の会議概要について確認した。

(2) 議員活動調査について

- ・議員活動実態調査について、委員長より概要を説明する。

【委員からの主な意見】

- ・今回の調査を何のために行うのかを明らかにすべき。
- ・市民に議員がどんな活動をしているのか知ってもらいたい。
- ・定数や報酬への批判の根底には、議員が何をしているのかわからないということがある。調査を通じて実態を明らかにすべき。
- ・調査を機会に自らの議員活動の分析ができる。
- ・数値化もよいが、具体的な活動内容を報告する形が良いのではないか。
- ・議員定数を検討することと、今回の調査がどのように関係するのか明確な位置づけが必要ではないか。
- ・今回の調査については、結果を答申の中に盛り込むことはもちろん、市民との意見交換会などで議員の活動を市民に広く知っていただくための基礎資料として活用する。また、活動時間から理事者など行政側職員との比較も可能となり、委員会における検討材料の一つ

となる。議員活動の現状を把握したうえで、定数について検討を行い、結果を市民にも提示する。

- ・調査票の様式については、案①を基本に、備考欄に具体的な活動内容等を記入できるようにするなど正副委員長・事務局でさらに検討する。
- ・調査期間は9月1日から来年8月31日の1年間とする。9月3日の全員協議会で全議員に説明を行い、実態調査への協力を依頼する。
- ・議員活動の分類は、議会活動と議員活動の2つに大別し、11項目の分類とする。「行事参加」は、議員として出席要請があったものは含める。「その他」は、各議員によって判断が分かれるため、該当があれば具体的な活動を備考欄に必ず記入し、必要に応じて委員会で検討する。
- ・調査票は毎月末で集計して、翌月10日までに事務局へ提出する。

(3) その他

- ・次回の委員会については、9月25日（火）午前9時00分から開催予定とする。